

2025 年 5 月 28 日 実習生の田中君が担当患者様のレジюме発表を行いました。題名は「右立脚相で右膝関節が伸展位であることが歩行スピードを低下させている右変形性膝関節症の一症例」です。

発表前や発表中は普段通りの雰囲気、担当患者様の動作分析をもとに立てた仮説や統合と解釈を、しっかりと参加者に伝えていました。今回は臨床日で神戸リハビリテーション衛生専門学校の高橋先生が参加されました。その影響もあってか、質問が始まると少し緊張した表情にはなりましたが、自分の考えをしっかりと述べていました。参加者からは、田中君の成長につながる助言があり、彼は真剣な面持ちで聞いていました。発表が終ると、緊張から解放されたのか、笑顔が見られました。

今後もリハビリテーション科では学生指導に取り組み、理学療法士の質を向上させることで社会貢献してまいります。

(文責 藤原 聡)

【担当患者様のレジюме発表風景】

